

1 調査日 令和6年7月19日（金）

2 調査の概要

（1）竜王町役場（蒲生郡竜王町大字小口）

竜王町では、町内における買い物や通院などの日常生活に必要な移動手段の確保のため、令和2年10月から予約制乗合ワゴンのチョイソコリゅうおうを運行している。本委員会では、「将来に向けた地域公共交通のあり方について」を重点調査項目の一つとして公共交通を取り巻く諸課題の解決に関する調査をすることとしており、今後の委員会活動の参考とするため、竜王町役場を訪問し、竜王町コンパクトシティ化構想を踏まえた移動手段の確保の取組について調査を行った。



（2）インフロニア 草津アクアティクスセンター（草津市西大路町）

インフロニア 草津アクアティクスセンター（草津市立プール）は、令和6年8月にオープンする施設で、国スポ・障スポ大会の水泳競技会場となる。また、大会後は「スポーツ環境の充実」「新たなにぎわいの創出」「スポーツ健康づくりの推進」の実現が期待されている。本委員会では、「国スポ・障スポ大会の開催にかかる運営とその後を見据えたスポーツ振興について」を重点調査項目の一つとし、滋賀らしい国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会に向けた環境整備・競技力の向上・機運醸成に関する調査をすることとしており、今後の委員会活動の参考とするため、同施設の設整備状況や選手関係者、観客の動線等について調査を行った。



(3) びわこ成蹊スポーツ大学（大津市北比良）

びわこ成蹊スポーツ大学では、国スポ・障スポ大会に向けて、「指定クラブ」による選手強化の実施、選手やコーチの派遣、スポーツ科学を活かした選手への医科学的サポート、全国障害者スポーツ大会へのスタッフの派遣など様々な取組が予定されており、今後の委員会活動の参考とするため、大学における競技力向上の取組について調査を行った。

また、同大学では中学校休日運動部活動の地域移行に向けた実践研究として学生を指導者として派遣や子どもにスポーツの楽しさを伝えることを目的とした「びわスポキッズプログラム」の実施など、子どものスポーツ離れ、運動能力の低下などの課題に向き合う取組を行っていることから、大学生や大学関係者との県民参画委員会を実施し、地域におけるスポーツ振興の状況や課題等について意見交換を行った。

